

友好のきずな

一次世代につながる交流を願つてー

友好都市交流協定を締結

7/1

北海道洞爺湖
町は、平成17年
3月に洞爺村と



虻田町が合併して誕生した
町です。北海道南西部の支
笏洞爺国立公園内に位置
し、風光明媚な町として知
られ、ジャガイモ、ビー
ト、アスパラガスなどの農
産物が多く栽培されていま
す。気候は比較的温暖で、
洞爺湖温泉郷として四季を
通じて多くの観光客が訪れ
る有数の観光地です。ま
た、来年は主要先進国の首
脳が訪れ北海道洞爺湖サミ
ットが開催されるなど、世
界の注目を集める地になっ
ています。

昭和50年に、洞爺村と財
田町との間で開拓縁故により姉妹町村の盟約を結
び、交流を深めてきました。

洞爺湖町、三豊市とも合併した関係から、友好
交流協定について検討してきましたが、7月1日
に開催される洞爺産業まつりに合わせて締結する

北海道洞爺湖町

<http://www.town.toyako.hokkaido.jp/>

ことを確認し、横山市長、多田議長ほか3名が洞
爺湖町を訪問しました。

調印式は、洞爺湖町役場防災研修ホールで長崎
町長、篠原議長ほか行政や議会関係者、旧洞爺村
の関係者など約80名が参加して行われ、長崎町長
は「今後各分野で交流を深め、さらに太いきずな
になるよう願いたい」と式辞を述べ、横山市長
は「次世代につながる交
流にしたい」とあいさつ
をするなど、今後の末永
い交流を誓い合いました。



財田上・財田中小学校と洞爺小学校との
姉妹都市少年交流事業



三豊市は、旧町時代から交
流を深めてきた北海道洞爺湖
町、大韓民国陜川郡、徳島県
美波町と、それぞれ友好都市
協定を結びました。

7/13



大韓民国慶尚南道陝川郡
はふ ちよん ぐん
は、韓国南部に位置し、人口約6万人の豊かな自然に恵まれた、農業を主産業とする地域です。

陝川郡とは、平成6年に農業視察団が高瀬町を訪れたのがきっかけとなつて交流が始まりました。平成8年に高瀬町と友好協定を締結し、中学生のホームステイをはじめ、婦人会交流、空射矢まつり、陝川さくらマラソンへの参加など、行政、文化、経済など多岐にわたる交流が続けられてきました。

今回、友好交流都市協定の締結のため、高瀬空射矢まつりに合わせて沈義祚（シム・イジョ）郡守、柳道載（ユ・ドジェ）議長ら16名が三豊市を訪れ、友好の証として互いの市旗、郡旗を交換しました。



大韓民国 慶尚南道陝川郡

<http://www.hc.go.kr/japanese/>

握手を交わして今後の交流発展を確認しました。



大耶文化祭での交流

調印式は、横山市長、多田議長ほか行政や議会関係者、国際交流協会の理事、評議員など約50名が出席して行われ、両市郡民の相互理解と友情を増進させ、両市郡の繁栄と友好関係の発展に寄与する」と記した協定書に横山市長、沈郡守、続いて多田議長、柳議長がそれぞれ署名し、固い握手を交わして今後の交流発展を確認しました。



7/21

徳島県
美波町は、平成18年に日和佐町と由岐町

昭和43年に、日和佐町がうみがめの来る町、詫間町が浦島伝説の伝わる町として姉妹町の盟約を交わしました。

以来39年間にわたり、日和佐町の「うみがめまつり」、詫間町の「港まつり」などのイベントを中心に、産業、文化、教育などの分野で心温まる交流が続けられ、太いきずなが結ばれてきました。

7月21日に開催された第44回日和佐うみがめまつりに合わせて、横山市長、多田議長、3代目浦島太郎、たくま花大使ら14名が美波町を訪問し、「これまでの交流の足跡を深く尊重し、この意思を引き継ぎ、さらに相互交流に努めるとともに、両市町のますますの発展と住民の福祉を願い、将来にわたり固い友情のきずなを継承していく」と



うみがめ祭り龍宮パレード

徳島県美波町

<http://www.town.miyama.tokushima.jp/>

